

# 民報あばしり

NO.1045

2015.11.22

発行所

日本共産党  
網走市委員会  
網走市北八西三  
五四三・四四五八  
F 四三・四四五七



## 日本共産党地方議員の道庁交渉

日本共産党の全道地方議員は、11月16、17日の2日間にわたって1000名を超える議員が道庁交渉を行いました。この交渉は、前段で各地の振興局との交渉を経てのもので、回答に納得できないものについて本庁の答弁を求めて質疑するものです。全道から532項目に及ぶ地域の要求が寄せられているため、2つの会場に分かれて行われました。

16日は経済部、原子力・エネルギー、保健福祉部、総合政策部、総務部、建設部。17日は教育庁、農政部、環境生活部、水産林務部、公安委員会との交渉となりました。

1人議員になったため、2つの会場を行ったり来たりしながらの交渉となりましたが、要求項目で一番多かったのは福祉に係わる項目で120項目にもなりました。それだけ安倍自公政治が道民の暮らしを痛みつけていることの証明ではないでしょうか。



また、交渉しての感想は、「引き続き国に働き掛けてまいります」「市町村に働きかけます」などといった言葉で、国と市町村頼みの姿勢では、「道」としては、この問題ではこうし

ます」というような答弁は皆無でした。高橋道政の本質が表れているなど痛感しました。

## 「平和のための市民運動が続く

「戦争法」が強行された後も、全国で廃止をめざし多彩な運動が続いています。

網走の「ストップの会」では、今月に入っても多彩です。少しでも市民の目に留まるようにと、手製の横断幕をつくり署名活動や宣伝行動に活用しています。明るい配色で、すっきりと「戦争法（安保法制）は廃止！」と書かれて好評です。

また来年18歳選挙権が始まる中、少しでも真実を知ってもらおうと、「未来のために あきらめない」神保大地弁護士講演会のチラシを配布しました。

14日（土）には駒場ベレーシック、川向ベレーシック店前で抗議宣伝行動を続けていきました。金曜日には「平和の願いを網走から」の午後6時の行動も続けられています。

## 物産奮闘

道庁交渉のため16日の午前6時23分発の札幌行きJRに乗り、午後1時から全道地方議員の打合せ、午後1時30分から道庁交渉という日程で、肉体的にはハードでした。

列車で5時間半、道との交渉で3時間半、合わせて9時間にわたってイスに座っているのは辛いものがありました。その日の夜は、自治労働会館で6時半から「北海道の地域医療を守る緊急集会」があり参加しました。

17日は9時から12時まで道庁交渉でした。帰りは午後3時8分のJRに乗りましたが、途中の遠軽あたりからお尻の筋肉が痛くなってきた、座っているのがつらくなりました。年を重ねるごとに、この日程の活動はキツク感じます。しかし、国民連合政府実現まで、まだまだ頑張らなくてはなりません。

## 菊地ひろし

「わかっていないけれども出来ない」と、よく聞きます。私は

しよつちゅうです。憲法破りの安倍政治を許さない、そのために「戦争法廃止の声をあげよう、署名をお願いします」の訴えにこの答えが返ってくることはありません。しかしこのままで良いと思っている方はいないと思います。ある方は「野党が一つにまとまって、自民党に勝たなければだめだ。まだ安倍さんの支持が下がらない。」と世論調査の結果に驚いていました。

しかし選挙協力だけでは、国民の信頼を得ることはできません。「海外で武器の使用が出来る「戦争法」の廃止と、政権党が憲法の枠の中で政治を行う、この1点で合意する政府」を示せば、多くの国民の大きな信頼を得ると私は確信しています。そのためには市民のみならず一緒に粘り強く、運動を進めていきたいと思えます。

私たちとご一緒に共産党の一員として生きてくださる方を心より歓迎いたします。

## 流水

13日（金）エコーセンターを会場に、テーマ「ボランティアでつながる新たな未来」始まりは小さな思いやり。全道高等学校ボランティア研究会

会が行われた。「ボランティア活動に取り組む高校生の研修と情報交換、交流の場」である。「読書推進未夢の会」は、6分科会の「児童福祉・絵本の読み聞かせ」の講師を引き受けた。▼授業は2時間。絵本を通してボランティアの意義を改めて考えるひと時を頂いた。▼スタッフのKさんから、「現状を把握するため参加する生徒にアンケートの依頼、15年間実践してきたことや学んだことを最大に対応グループで絵本を選んで練習と読み聞かせ実施、ボランティアの意義を話し合っ発表で収めたい。」の提案があり、時間をかけて練り上げた。その日だけの一期一会のため。1、楽しんで参加してほしい。2、分科会を選んだ一人ひとりの生徒が発言をし、何かを感じてほしいと▼Yさんは、仕事をしながら3人の子育て真っ最中だが、「高校生に意識してほしい」願いを込めて憲法や平和の本も1冊入れ紹介。Kさんは手作りの親しさと繰り返すリズムカルな言葉を大事にした、楽しさいっぱいの紙芝居を中心に。鬼と山姥が好きで、権力を振り回すこわい者も優しさにはかなわない、絵本には人生の訓えがあると私。▼決められた時間に若者たちは取り組んだ。そして、グループで定義の発表の一つ、「見返りを求めず、人の喜ぶことを自ら進んで、笑顔と、思いやりを持って行う助けあい。」と。（て）